

令和5年度（2023年度）
社会福祉法人いなほ福祉会 放デイほたる 事業報告

1. 利用登録者数と利用実績（令和6年3月予末）

【利用登録者数】 19名

利用月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
開所日数	22	21	23	22	22	21	23	22	23	20	21	22	262日
延利用人数	150	151	166	158	173	129	175	168	148	165	160	156	1899人
1日平均	6.8	7.1	7.2	7.1	7.8	6.1	7.6	7.6	6.4	8.2	7.6	7.0	7.2人

令和4年度 延利用人数 1877人 1日平均 7.1人

【送迎利用実績】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
延利用人数	254	264	289	266	262	238	327	308	252	293	284	262	3299人

令和4年度 延利用人数 3,299人

【個別療育録者数】 7名

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
延利用人数	2	4	5	4	5	4	5	3	3	4	3	2	44人

2. 職員体制

職 種	定数	現員
管理者	1名	1名（常勤・兼務）
児童発達支援管理責任者	1名	1名（常勤・兼務）
保育士または 児童指導員	2名 (1名常勤)	6名（常勤・専従2名） （非常勤・専従4名）
指導員		1名（非常勤・専従）
合 計	4名	5名

3. 今年度の重点方針

〈発達支援〉〈家族支援〉

①管理者と責任者で役割分担をした事業所運営を行います。

事業所の管理者が保育（実践）・保護者対応・各関係機関との連携・職員集団作りに責任をもち、責任者が行政対応・書類の整備・ほたるの運営に責任をもつスタイルでの事業所運営を行いました。役割分担できた事で管理者が現場に専念でき、責任者と共に運営面の話し合いや相談をしながら安定した運営ができた一年となりました。

②新しい職員集団の構築と、放デイほたるの保育の定着に努めます。

職員の入替えと共に管理者も変わり、職員集団が一新しい年でした。一つ一つの事象に管理者が放デイほたるの実践の意味や目的、目標を新しい職員に伝えていくことで、同じ思いをもった職員集団を構築する事に努めました。放デイほたるの保育が継続し定着していくよう引き続き務めていきます。

③福祉職員および児童分野職員としての専門性の向上に努めます。

計画的な法人研修と児童分野の研修を通じて、福祉職員および児童分野職員としての専門性の向上に努めました。また関係機関の相談員の方に専門的なアドバイスを頂く中で、実践を振り返ったり見直したりする事ができ、職員の専門性の向上に繋がりました。

④子どもたちの主体性を尊重した実践内容を模索します。

学齢児の子ども年齢に合った活動内容の見直しや、子ども自身が友達と調整しながらしたい遊びをすすめるなど、子どもたちの主体性を尊重した活動内容に見直すため、日々様々な取り組みを行いました。土曜活動では、小学生(第一土曜)と中高生(第三土曜)の利用日を分ける事で、それぞれの年齢に合わせた活動に焦点をあてて取り組む事が出来、子ども達も毎月その日を楽しみにし活動を自分達で考える姿が見られるようになってきています。

個別支援計画の目標を子どもと一緒に考える(中高生のみ)など、自分の生活を自分で組み立てる力を育みました。

⑤くろしお学園の早帰りの送迎に対応します。

みくまの支援学校の送迎がなくなった事から、三重県側の事業充実を図る為、くろしお学園の早帰りの送迎に対応しました。木曜日は小中学生、金曜日は小学生の早帰りに対応しています。他の曜日での対応も検討しましたが、子どもの利用の調整ができたことから、今年度については他の曜日は早帰りの対応をしませんでした。

<地域支援>

①個別療育を実施します。

地域の学校に通っている言語の課題がある子どもの個別療育を実施しました。言語聴覚士がアセスメントを行い、必要な言語訓練を週1回半年間を限度として実施しました。放デイほたるの子どもも外部の子どももおりますが、どちらも必要な場合には学校との連携を図り情報共有や支援の方法についてアドバイスする等、関係機関との連携を含めた支援を行うことができました。

②発達支援部会に参加し、地域の課題に取り組みます。

障がいのある子ども達が将来にわたって、のびのびと地域で豊かな生活ができるよう、発達支援部会に所属して地域の課題に目を向け、関係者と共に課題解決に向けての取り組みや研修会等を行い参加しました。

今年度は福祉職員の魅力を発信するパンフレット作成や、地域資源マップ作成等を協働で行った他、福祉現場職員から希望が多かった保護者支援の研修会等を行い、どの現場でも起こりうる事例について共に学ぶ中で、それぞれの事業所にも思いを馳せる機会にもなりました。

4. 保護者学習会の実績報告

日程	内容	講師
2月9日	当事者の話しを聞く	通園めだか卒園児・保護者

5. 緊急時の対応

緊急時の対応はありませんでした。

6. 事故発生時の対応

日付	事故等の発生状況およびその後の経過（損害保険利用状況等）
2月8日（木）	サイクリング中にバランスを崩して転倒。左前歯破折。当日はかかりつけ医が休診日だった為別の歯科を受診。翌日かかりつけ医に診察して頂き破折部分を接着した。病院受診日数2日。損害保険のお見舞金を利用しました。

7. 虐待および身体拘束発生状況

身体拘束説明書・同意書作成 0名

【虐待案件】 0件

【身体拘束発生案件】 0件

8. 苦情解決実績報告

苦情の対応はありませんでした。

9. 職員（援助者）の援助技術の向上

(1) 職員会議の実績報告

・職員会議	→	11回開催
・個別支援計画策定会議	→	10回開催
・モニタリング会議	→	9回開催

(2) 職員研修の実績報告

【内部研修】

日程	主催	研修内容	講師	参加人数
4月22日	法人	虐待防止・人権擁護伝達研修	福祉会職員	6名
5月16日	通園めだか	発達の学習会①	ビデオ視聴研修	
7月7日	放デイほたる	救命救急	紀宝分署	5名
7月8日	法人	会議の技術「ファシリテーション」を学ぶ	教育研究開発センター 平野 隆則氏	3名
9月30日	法人	防災教室と業務継続計画の周知	那智勝浦町役場 柴田 通仁氏	3名
12月23日	児童分野	児童分野学習会	グループワーク	1名
1月20日	通園めだか	発達の学習会②～④	ビデオ視聴研修	1名

【外部研修】

日 程	主 催	研修内容	講師等	参加人数
1月23日	発達支援部会	ことばのねっこ	福田 尚子氏	2名
1月27日	人間発達研究所	乳幼児期後半の発達と発達の原動力の誕生 期待に満ちたあたたかい結び目を紡ぐ乳幼児保育について考える	白石 恵理子氏 南 佐知氏 安井 桃子氏	3名
2月22日	発達支援部会	保護者支援について	浜松学院短大 志村 浩二氏	1名
3月16日	和歌山県	人権擁護・虐待防止研修	こども発達支援研究所 前田 智行氏	1名

10. 年間行事

日 程	内 容
3月27日(金)～4月7日(金)	春の長期休暇活動期間
6月16日(金)	保護者懇談会
7月21日(金)～8月31日(金)	夏の長期休暇活動期間
8月 5日(土)	夏の取り組み(中高生)
8月19日(土)	夏の取り組み(小学生)
10月 6日(金)	保護者懇談会
10月 7日(土)	保護者懇談会
12月 2日(土)	クリスマス会(小学生)
12月16日(土)	クリスマス会(中高生)
12月25日(月)～1月5日(金)	冬の長期休暇活動期間
3月16日(土)	卒業おめでとう会
3月26日(火)～4月5日(金)	春の長期長期休暇活動期間